

東北海区沿岸水温予報(2004年)

海域	経過 (12~3月)	現況(4月上旬~ 4月中旬)	見通し (4~6月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸; 青森水試発表)	12月 表面, 50m, 100mともかなり高め, 水塊深度は平年並, 津軽暖流の張り出しは, 平年並. 3月 表面, 50m, 100mともやや高め, 水塊深度は平年並, 津軽暖流の張り出しは, やや西偏.	沿岸定地水温 3月 かなり高め 4月上旬 やや高め	津軽暖流域の水温は, 平年並~やや高め. 津軽暖流の東方への張り出しは平年並.	2~4月の対馬暖流の水温が, 平年並から高めに転じた. 対馬暖流勢力がやや弱めから平年並となった.	1~2月頃まで日本海から津軽海峡を經由し, 太平洋沿岸にエチゼンクラゲが大量来遊した.
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水試発表)	12月 表面: 本県沿岸, 沖合ともに平年並. 100m 深: 県北部で低めのほかは, 平年並~やや高め. 1月 表面: 沿岸, 沖合ともに平年並~やや低め. 100m 深: 沿岸, 沖合ともに平年並~やや低め. 2月 表面: 沿岸, 沖合ともに平年並~低め. 100m 深: 沿岸, 沖合ともに平年並~低め. 3月 表面: 県北部沖合でやや低めの他は, 平年並~やや高め. 100m 深: 県北部, 県南部の沖合でやや高めの他は, 概ね平年並.	表面 概ね平年並. 100m 深 沿岸で平年並~やや高め, 沖合でやや低め.	沿岸 期間前半は, 平年並~やや高め, 期間後半は平年並となる. 沖合 期間を通して平年並~やや低めで推移する.	4月観測では, ほとんどの海域で鉛直混合が見られているが, 沿岸の100m 深付近には, 津軽暖流水の分布が見られる. また, 衛星画像を見ると, 本県沖合には依然として親潮系冷水が分布している.	イサダ漁が3/1にスタートしたが, 漁期のはじめから漁場は南偏傾向にあり, 一日の水揚量は400~600トンで推移している. 2月, 3月には表面で2台の冷水が観測された.
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水試発表)	12月は, 表面では概ね平年並, 100m深では平年より極めて低め~平年並. 1月下旬~3月は, 表面, 100m深ともに平年より極めて低め~平年並.	1月に急激に南下した親潮第1分枝は金華山沖付近まで北退し, 表面, 100m深ともに概ね平年並~平年よりやや高めとなった.	概ね平年並で推移するが, 親潮第1分枝あるいはこれに連なる冷水の影響を受けやすい北部海域と中部海域は, 平年よりやや低めで推移する.	岩手県~福島県海域における類似年は1987年および1992年となった. また, 類似年モデル, 主成分スコア自己帰帰予測モデル, 偏差対称モデルを併用して予測を行なった. 近海の黒潮の北限位置は南偏傾向で急激な暖水波及は想定しにくく, 金華山沖暖水塊の急激な接岸がなければ平年並で推移すると考えられる.	例年より約1ヶ月早く仙台湾に夜光虫が出現し赤潮発生. 142°E以東に珪藻豊富. 4月沿岸定線で, プラクトンネットにクリオネ数尾入網. 仙台湾でミンク鯨確認. 3月末の調査で, 仙台湾湾口部でマアジの当歳魚が中層トロールに入網し, レプトファルス幼生も多数入網.
常磐北部 (福島県沿岸; 福島水試発表)	12月: 全域で低め~極めて低め. 親潮系冷水は県中北部沖合に見られ, 沖合からの冷水波及の傾向は前月から引き続いていて. 1月: 親潮系水, 黒潮系水とも勢力は弱く, 極めて単調な水温分布となったが, 低め基調は継続し, やや低め~低め. 2月: 親潮系冷水の勢力が前月より強まる. 水温の低め基調は継続したが平年よりやや低め~平年並とやや解消した. 3月: 親潮系冷水の勢力は強まり2台の冷水が本県沖30~50海里付近に細長く分布. 黒潮系暖水の勢力は依然弱いものの県中南部沖合に暖水域が見られ, やや低め~低めとなった.	親潮系冷水の勢力は前月より弱まり, 表面では黒潮系暖水の波及が県南を中心とした範囲に見られる. 水温は低め基調が続き全体においてやや低めとなっている.	親潮系冷水の差し込みがみられるものの勢力は弱く, やや低め~平年並で推移する.	自己帰帰モデルによる予測では5~6月はプラス基調の平年並と予測されたが, 親潮系冷水の南下が断続的にみられる時期であり, 表面では黒潮系暖水の波及が見られ始めたものの, 低め基調の現況が早急に解消するとは考えにくい.	3月: 船曳網によるコウナゴ漁は, 県中北部で前年より好調. 県南部で前年よりやや低調. オキアミ漁はコウナゴ漁が継続したことで, 着業は4月中旬であった.
常磐南部 ~鹿島灘 (茨城県沿岸; 茨城水試発表)	12月~2月前半: 水温の鉛直混合が進み, 「低い」であったが, 前月より「低い」傾向は緩和し, 鹿島灘には弱い暖水舌が形成されていた. 2月後半~3月: 親潮系冷水が急激に南下し, 常磐南部から鹿島灘まで広域的に「極めて低い」となった.	4月: 親潮系冷水の差し込みが継続し, 常磐南部から鹿島灘まで広域的に「極めて低い」となっている. 沿岸部表層と142°E以東表層では, 黒潮系水が差し込んでいるが, 水温は平年値に比較して「低い」となっている.	4月から6月は, 沿岸で親潮系冷水の南下が継続し, 「低い」で推移し, 鹿島灘では断続的に弱い暖水舌が形成されるが, 冷水傾向の解消にはいたらない.	房総沖の黒潮流軸は, N型で南偏で推移する. 小規模な蛇行の通過に伴い, 犬吠に離接岸するが, 大規模な暖水塊の形成に至るような流路の変動はない. また, 常磐沖に形成されている暖水域の水温も低めとなっている.	波崎地区でオキアミが水揚げされた(15年ぶり)

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部~鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10~70海里			
極めて高い(2.5%)	+2.4 ~	+4.0 ~	+6.0 ~	+2.4 ~	+4.0 ~	+4.0 ~
高い(7.5%)	+1.6~+2.3	+2.5~+3.9	4.0~+5.9	+1.6~+2.3	+2.5~+3.9	+2.5~+3.9
やや高い(20%)	+0.7~+1.5	+1.0~+2.4	1.5~+3.9	+0.7~+1.5	+1.0~+2.4	+1.0~+2.4
平年並(40%)	+0.6~-0.6	+0.9~-0.9	1.4~-1.4	+0.6~-0.6	+0.9~-0.9	+0.9~-0.9
やや低い(20%)	-0.7~-1.5	-1.0~-2.4	1.5~-3.9	-0.7~-1.5	-1.0~-2.4	-1.0~-2.4
低い(7.5%)	-1.6~-2.3	-2.5~-3.9	4.0~-5.9	-1.6~-2.3	-2.5~-3.9	-2.5~-3.9
極めて低い(2.5%)	-2.4 ~	-4.0 ~	-6.0 ~	-2.4 ~	-4.0 ~	-4.0 ~